

○ 蔵王山火山防災マップ修正意見一覧

修正箇所	修正方法
【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) ●詳しくは気象庁～ください。	・「http://www.～」から「https://www.～」に修正。
【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 困ったとき・火山情報が欲しいときには	・「災害情報案内テレホンサービス」削除。
	・「消防テレホンサービス（仙南地域広域行政事務組合・上山市）」削除。
	・「各市町（〇〇課）」の（ ）を削除。
	・「白石市危機対策室」から「白石市危機管理課」に修正。
	・「宮城県危機対策課」から「宮城県復興・危機管理総務課」に修正。
	・「山形県危機管理課」から「山形県防災危機管理課」に修正。
【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 蔵王山ハザードマップ	・東北中央道上山IC以南の内容がないため、最新の国土地理院地図に差し替える。
	・「㊸第十中学校」から「㊸東北文教大学」に修正。それに伴い図示地点変更。
	・上記により「㊹第十中学校」となることから、以降、番号ずれに伴い、図示地点変更。
	・「㊺中央公民館」の位置を修正（左上に1cmほど移動）。
	・噴石分布予想範囲（水蒸気噴火期）の線の色（青）は、融雪型火山泥流の発生予想範囲の色（水色）と同系色のため、視認しやすい色へ修正。
	・「降灰の分布予想範囲（マグマ噴火期）」の10cmの箇所（㊾・㊿記載場所付近）に、「降灰後の土石流の発生予想範囲」の「水蒸気噴火期・マグマ噴火期」の線がひかれているように見えるため、誤解を防ぐためにも、線の引く場所をずらす等修正。
【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 避難場所一覧	・各施設における「電話番号」は、原則施設直通番号とし、番号の最後に「（直通）」をつける。また、何らかの事情でこれ以外の番号を記載する場合は、どこの番号なのかを（ ）内に記載する。
	・「㊼七ヶ宿町公民会長老分館」の住所を「七ヶ宿町字長老295-4」→「七ヶ宿町字長老292-4」に修正。
	・「㊸第十中学校」を「㊸東北文教大学」「山形市片谷地515」「023-688-2298」に修正。
	・上記により「㊹第十中学校」となることから、以降、番号ずれを修正。
【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 蔵王山ハザードマップの想定現象 ●その他の現象	・5行目「御釜の湖壁が崩壊することによる泥流」から「御釜の湖壁が崩壊することにより発生する泥流」に修正。
	・7行目「最新のものは約1万年前以内に～」から「最新のものは約1万年__以内に～」に修正。
【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 有史以降の蔵王山の火山活動	・「噴火の概要等」から「概要等」に修正。
	・「1939年～43年」の活動で「火山ガス噴出」から「噴火、湖水変色、温泉異常」に修正。
	・「1939年～43年」の概要等で「4月御釜～」から「4月に噴火し、御釜～」に修正。
	・「2012年～」→「2012__～19年」に修正。

<p>【表】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 蔵王山噴火警戒レベル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁の「蔵王山の噴火警戒レベル」を参考に修正。 ・レベル3の「住民等の行動及び登山者・入山者等への対応」で示す内容について、「高齢者等要配慮者の避難準備が必要である」旨を追加。 <p>※上記の「蔵王山の噴火警戒レベル」では記載なし</p>
<p>【裏】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 避難時の心得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「～避難勧告や指示に従って～」から「～避難_____指示等に従って～」に修正。 ・服装のイラストのうち、女性のイラストを削除する。
<p>【裏】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 融雪型火山泥流マップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地図を最新の国土地理院地図に差し替える。 <p>※山形県版「詳細図①・②」は山形市独自の地図のため、全て国土地理院地図に統一する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例は「最大水深 (m) 」のみとなるように修正する。
<p>【裏】 蔵王山火山防災マップ(宮城県) 融雪型火山泥流マップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「詳細図」から「詳細図:蔵王町」に修正。
<p>【裏】 蔵王山火山防災マップ(山形県) 融雪型火山泥流マップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「㊸第十中学校」を「㊸東北文教大学」に修正。それに伴い図示地点修正。 ・上記により「㊹第十中学校」となることから、以降、番号ずれに伴い、図示地点修正。
<p>【裏】 蔵王山火山防災マップ(宮城県・山形県) 火山災害を引き起こす現象の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きな噴石」2行目「直径約50cm以上～」から「概ね20～30cm以上～」に修正。 ・「大きな噴石」の写真をより分かりやすいものに修正。 <p>※気象庁がよく使用する十勝岳の被害写真を予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「溶岩流」の内容に「また、大量の有毒な火山ガスが発生する。」という文言を追加。
<p>その他検討事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月下旬に転落事故があったため、立入規制についての文言等の追加を検討。 ・現行の「馬の背カルデラ」の範囲は数年前の調査結果に基づいて作成しているため、最新の調査結果がまとまったら、それに基づいての修正を検討。 ・現行の「マグマ噴火及び水蒸気噴火の想定噴火範囲」は数年前の調査結果に基づいて作成しているため、最新の調査結果がまとまったら、それに基づいて修正を検討。 <p>※なお、これまで水蒸気噴火と表記していたが、マグマが少し関与したものであったことが判明。厳密には、マグマ水蒸気噴火と記載する必要があるが、マグマ水蒸気噴火にはいろいろな種類のものがあり、蔵王山で発生してきたものをどのように表記したらよいか検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手山防災マップ/岩手山災害対策図のように、自治体管轄毎による詳細な噴石、降灰、火砕流想定範囲や避難場所を示す必要があるのではないか。原図では被災範囲が小さくて不明確。 ・観光地でもある御釜周辺には、レストハウスやスキー場、ペンション等多数の施設があることから、上記と同様な詳細な噴石・降灰・火砕流想定範囲や避難場所を示す必要があるのではないか。 ・山頂へはハイラインやエコーライン、地方道等があり、御嶽山のような不測の噴火時に対応した道路利用者への避難場所（誘導含む）や迂回路情報等を事前に周知する等も必要ではないか。